



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 Green Earth Institute株式会社 上場取引所 東
コード番号 9212 URL <https://gei.co.jp/ja/>
代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 伊原 智人
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 浦田 隆治（TEL） 03-5315-0531
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	239	44.0	△133	—	△132	—	△134	—
2024年9月期中間期	166	27.8	△225	—	△226	—	△226	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	△11.88	—
2024年9月期中間期	△20.13	—

注 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	2,892	1,840	63.6
2024年9月期	2,736	1,975	72.2

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 1,840百万円 2024年9月期 1,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,046	4.4	△148	—	13	—	9	—	0.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	11,290,900 株	2024年9月期	11,290,900 株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	36 株	2024年9月期	36 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	11,290,864 株	2024年9月期中間期	11,277,664 株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本においては、企業収益や雇用・所得環境が改善する中で社会・経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、米国の新政権における今後の政策変更や、長期化するロシア・ウクライナ情勢および中東情勢等の背景から、原材料価格やエネルギー価格の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下であるものの、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)より受託したバイオフィアウンドリ事業やグリーンイノベーション基金事業等、また、同機構より交付を受けているバイオものづくり革命推進事業や、国内外のパートナー企業等との大型のパイプラインを含む研究開発を進捗させております。

なお、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢については、海外企業との取引において為替相場の影響は受けるものの、当社の現在の事業展開地域に当該各国は含まれておらず、現段階において、当該情勢による直接的な事業影響はございません。

以上の結果、当中間会計期間は売上高239,897千円(前年同期比44.0%増)、営業損失133,870千円(前年同期は営業損失225,402千円)、経常損失132,837千円(前年同期は経常損失226,020千円)、中間純損失134,147千円(前年同期は中間純損失226,995千円)となりました。

当事業年度については、国策としての業務の受託が多く発生していることから、売上高が第4四半期会計期間に集中するため、四半期会計期間別の業績には変動があります。

なお、当社はバイオものづくり事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- 注1. バイオフィアウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオリファイナリー技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオフィアウンドリ拠点)を構築、運用する事業(2021年度より6年間総額54億円、このうち建屋及び設備分(25億円程度の予定)は売上高には計上されません。)であります。
2. グリーンイノベーション基金事業は、「2050年カーボンニュートラル」を実現するため、経済と環境の両面の目標達成に繋がるような、野心的な2030年目標(性能、コスト、生産性、導入量、CO2削減量等)を設定した研究開発、実証から社会実装までを継続して支援する事業であります。
3. バイオものづくり革命推進事業は、未利用資源の収集・原料化、微生物等の改変技術、生産・分離・精製・加工技術、社会実装に必要な制度や標準化等のバイオものづくりのバリューチェーン構築に必要な技術開発及び実証の一貫した支援を行う事業であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当中間会計期間末における流動資産は2,684,910千円となり、前事業年度末に比べ48,847千円増加いたしました。これは主に仕掛品が164,586千円の増加、バイオフィアウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分含む立替金が158,591千円の増加等があったものの、現金及び預金が279,621千円減少したことによるものであります。固定資産は207,469千円となり、前事業年度末に比べ107,240千円増加いたしました。これは主に機械及び装置が109,282千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は2,892,379千円となり、前事業年度末に比べ156,088千円増加いたしました。

② 負債

当中間会計期間末における流動負債は1,005,285千円となり、前事業年度末に比べ396,730千円増加いたしました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金等により仮受金が282,074千円増加、長期借入金からの振替等により一年内返済予定長期借入金が100,100千円増加したことによるものであります。固定負債は46,119千円となり、前事業年度末に比べ106,494千円減少いたしました。これは主に一年内返済予定長期借入金への振替により長期借入金が104,020千円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

当中間会計期間末における純資産合計は1,840,974千円となり、前事業年度末に比べ134,147千円減少いたしました。これは利益剰余金が134,147千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は63.6%(前事業年度末は72.2%)となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、本項目において「資金」という。)については、前事業年度末より279,621千円減少し、1,994,628千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

a 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出した資金は155,856千円(前年同期は696千円の支出)となりました。これは主にバイオ

ファウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金等による仮受金の増加額282,074千円、未払金の増加額24,443千円等の増加要因があったものの、主として売上高に紐づく研究開発活動にかかる仕掛品を含む棚卸資産の増加額165,299千円、バイオフウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分等による立替金の増加額158,591千円、税引前中間純損失132,849千円等の減少要因によるものであります。

b 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は117,397千円(前年同期は46,557千円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出115,079千円等の減少要因によるものであります。

c 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は6,366千円(前年同期は4,559千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出3,920千円、リース債務の返済による支出2,415千円等の減少要因によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月14日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の研究開発の状況など、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,274,249	1,994,628
売掛金	195,512	171,990
仕掛品	147,815	312,402
貯蔵品	1,606	2,319
前渡金	4,340	4,757
前払費用	4,681	6,353
立替金	7,855	166,447
未収消費税等	—	26,009
流動資産合計	2,636,062	2,684,910
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,456	6,365
建物附属設備(純額)	1,486	1,432
機械及び装置(純額)	58,021	167,304
工具、器具及び備品(純額)	7,644	22,230
リース資産(純額)	9,590	7,192
建設仮勘定	16,143	—
有形固定資産合計	99,343	204,525
無形固定資産		
ソフトウェア	885	2,943
無形固定資産合計	885	2,943
固定資産合計	100,228	207,469
資産合計	2,736,290	2,892,379

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	7,940	108,040
リース債務	4,869	4,947
未払金	109,752	136,875
未払法人税等	11,423	11,921
未払消費税等	13,722	—
仮受金	456,718	738,792
その他	4,128	4,708
流動負債合計	608,555	1,005,285
固定負債		
長期借入金	138,740	34,720
リース債務	5,027	2,534
繰延税金負債	1,977	1,949
資産除去債務	6,868	6,915
固定負債合計	152,613	46,119
負債合計	761,169	1,051,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600,529	1,600,529
資本剰余金		
資本準備金	1,590,529	1,590,529
資本剰余金合計	1,590,529	1,590,529
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,216,089	△1,350,236
利益剰余金合計	△1,216,089	△1,350,236
自己株式	△28	△28
株主資本合計	1,974,941	1,840,794
新株予約権	180	180
純資産合計	1,975,121	1,840,974
負債純資産合計	2,736,290	2,892,379

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	166,653	239,897
売上原価	109,936	72,866
売上総利益	56,717	167,031
販売費及び一般管理費	282,120	300,901
営業損失(△)	△225,402	△133,870
営業外収益		
受取利息	12	1,116
講演料等収入	240	683
その他	212	—
営業外収益合計	466	1,799
営業外費用		
支払利息	1,083	735
株式交付費	—	31
営業外費用合計	1,083	766
経常損失(△)	△226,020	△132,837
特別利益		
新株予約権戻入益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	—	12
特別損失合計	0	12
税引前中間純損失(△)	△226,008	△132,849
法人税、住民税及び事業税	1,014	1,326
法人税等調整額	△27	△27
法人税等合計	987	1,298
中間純損失(△)	△226,995	△134,147

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失 (△)	△226,008	△132,849
減価償却費	6,181	12,823
株式報酬費用	2,751	—
新株予約権戻入益	△12	—
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	—	12
受取利息及び受取配当金	△12	△1,116
支払利息	1,083	735
株式交付費	—	31
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,253	23,521
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△206,423	△165,299
立替金の増減額 (△は増加)	△521,873	△158,591
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△54	△2,090
未払金の増減額 (△は減少)	241,230	24,443
未払又は未収消費税等の増減額	△53,294	△39,732
仮受金の増減額 (△は減少)	805,480	282,074
前受金の増減額 (△は減少)	82,500	—
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	255	2,197
その他	△158	47
小計	2,392	△153,792
利息及び配当金の受取額	12	1,116
利息の支払額	△1,083	△735
法人税等の支払額	△2,018	△2,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	△696	△155,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,103	△115,079
無形固定資産の取得による支出	△453	△2,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,557	△117,397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,220	△3,920
リース債務の返済による支出	△2,339	△2,415
その他	—	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,559	△6,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△51,812	△279,621
現金及び現金同等物の期首残高	2,401,060	2,274,249
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,349,247	1,994,628

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

3. その他

該当事項はありません。